

長寿社会に生きる

秋山 弘子

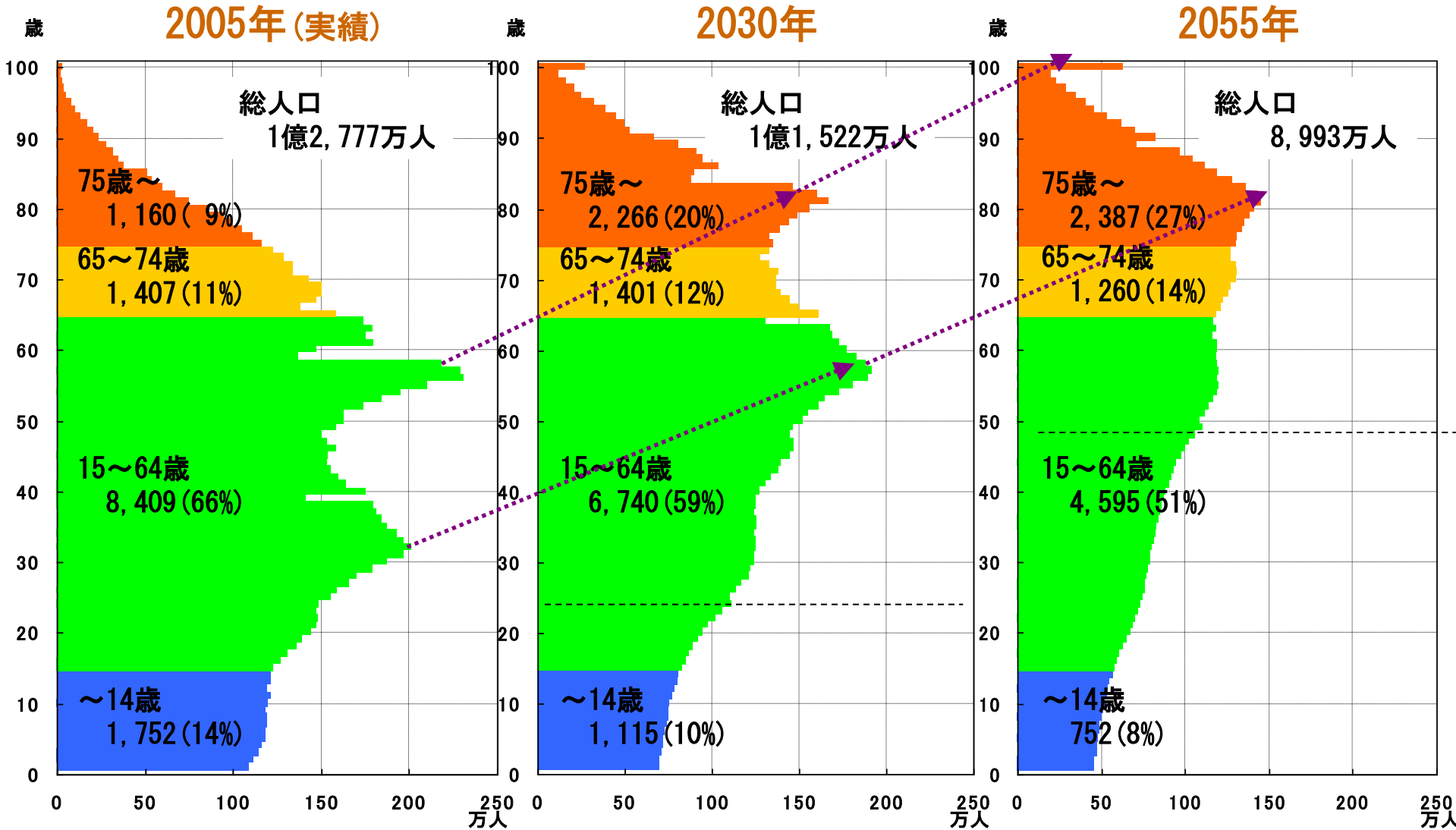
東京大学高齢社会総合研究機構

中央教育審議会生涯学習分科会企画部会

2016年11月7日

高齢者人口の高齢化

—平成18年中位推計—



注: 2005年は国勢調査結果。総人口には年齢不詳人口を含むため、年齢階級別人口の合計と一致しない。

長寿社会の課題

1. 個人の長寿化 → 人生90年の設計

多様な人生設計が可能

多毛作人生も可能

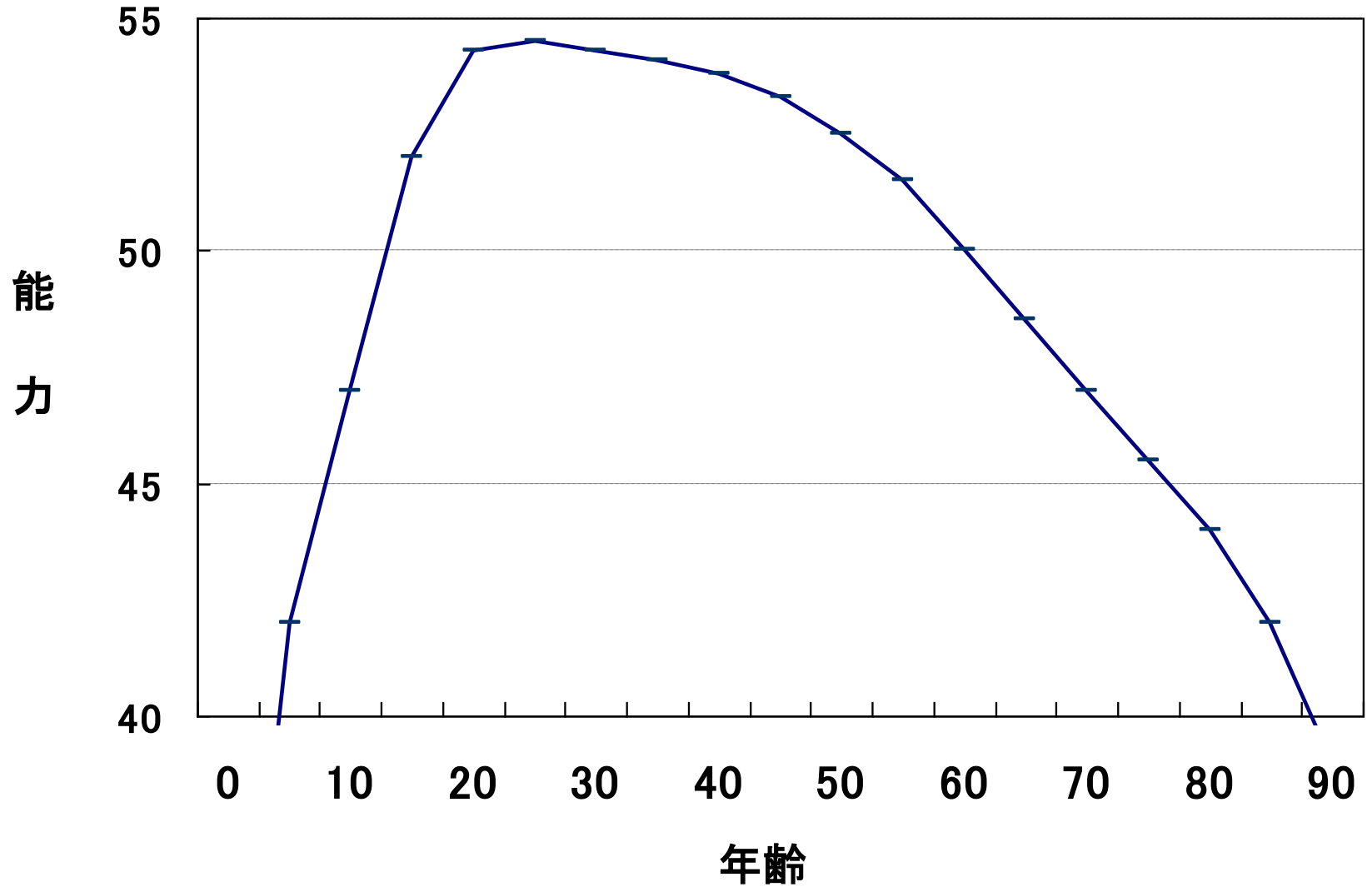
自分で舵取りして生きる

2. 人口の高齢化 → 社会のインフラ（ハード&ソフト） のつくり直し

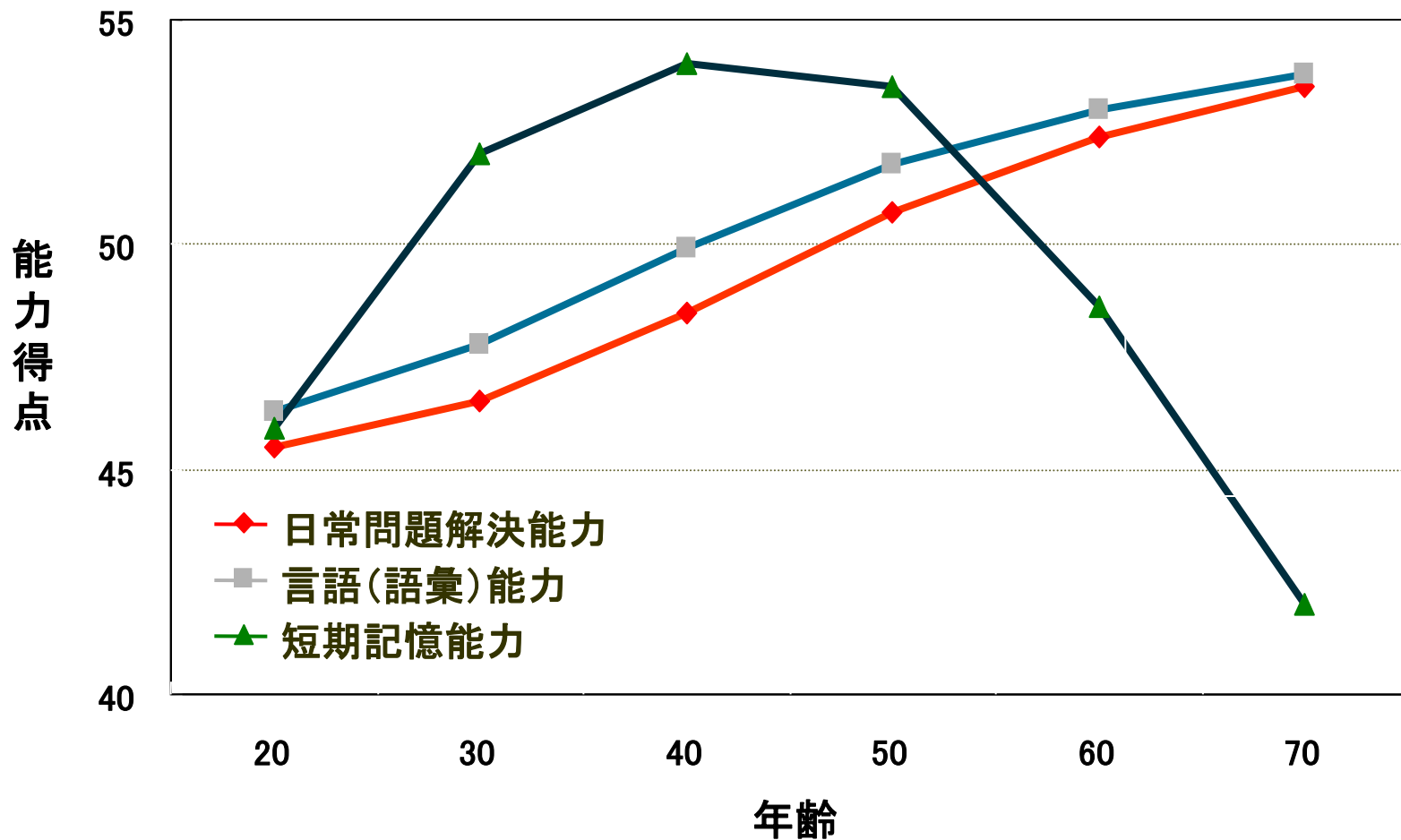
住宅、交通機関

教育、雇用、医療制度など

誤った「発達と老化」の通念



認知能力の年齢による変化



Cornelius and Caspi(1987, p150) より

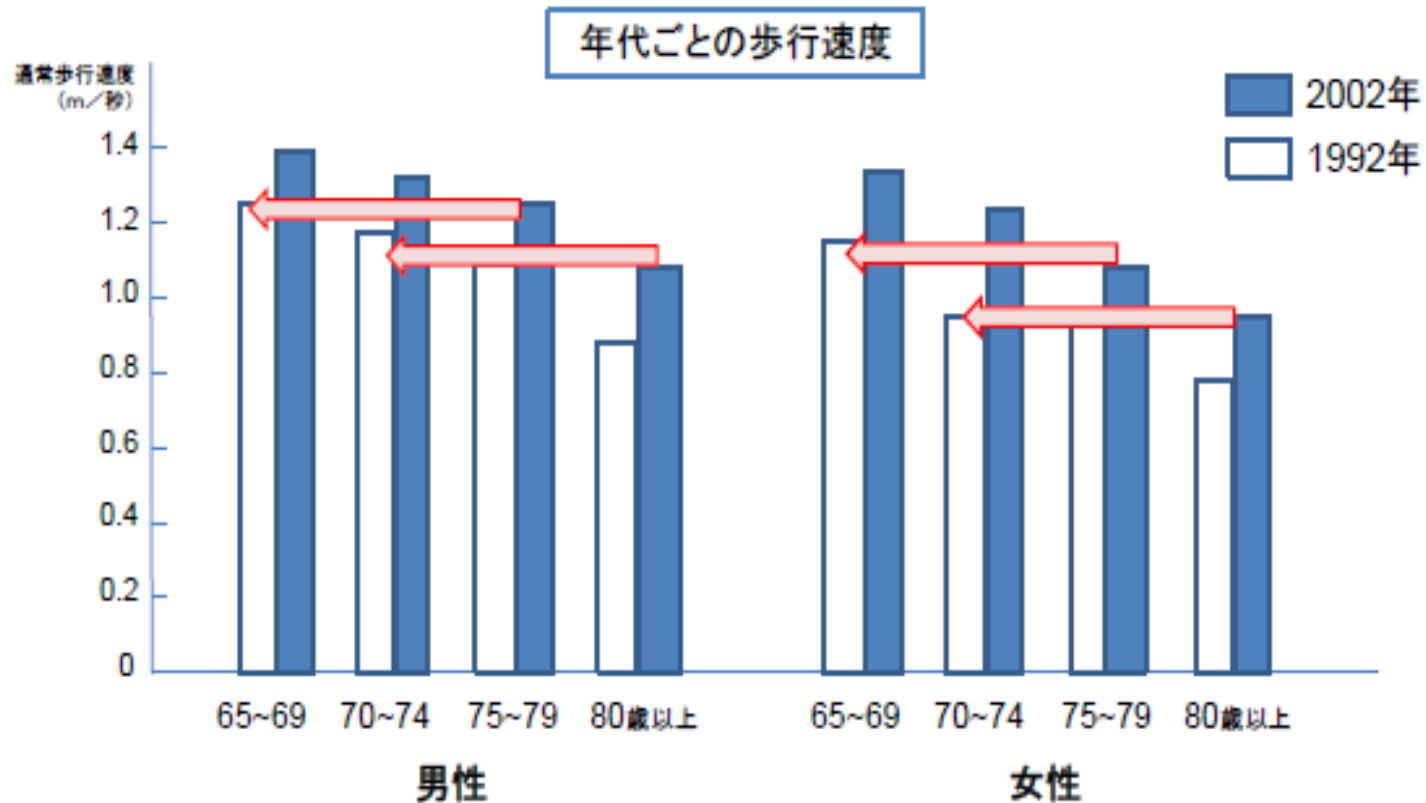
高齢期の可能性

人間の能力の変化は多次元で多方向

**人生の各段階で能力を最大限に活用して
生きる**

高齢者は若返っている！

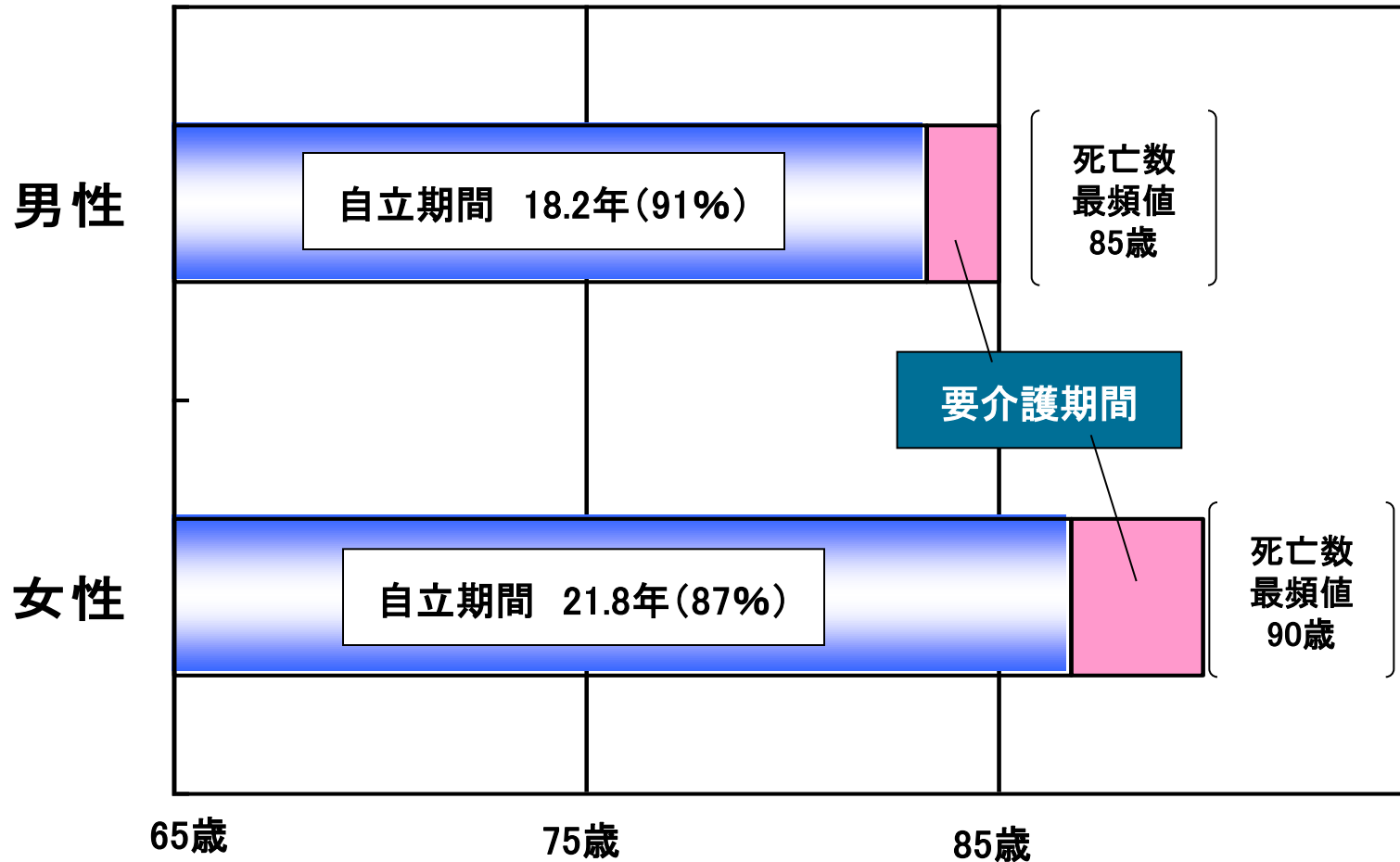
10年前(1992年)と今(2002年)の高齢者の通常歩行速度を比べてみると、男女ともに**11歳**若返っている！(ex.今の75歳は昔の64歳！)



人生は長い！（老後の自立生活時間の長さ：推計）

長い老後生活（※男性20年、女性25年）の9割は自立生活時間！

※死亡時年齢最頻値（厚生労働省「完全生命表（2005年）」－65歳より算出



資料：平成12年版厚生白書（「保健医療福祉に関する地域指標の総合的開発と応用に関する研究」；平成9年度厚生科研費補助研究事業）をもとに筆者が作成

…ボールを追う。少年の心で。(神戸新聞2004/09/15)
高齢者サッカースクール・リーダー 大重 博光さん(64)



東京大学 総括プロジェクト機構
ジェロントロジー寄付研究部門開設記念シンポジウム
「健康寿命100歳を実現する学際科学」 於：安田講堂



倍になった人生

人生50年 ⇒ 人生90年

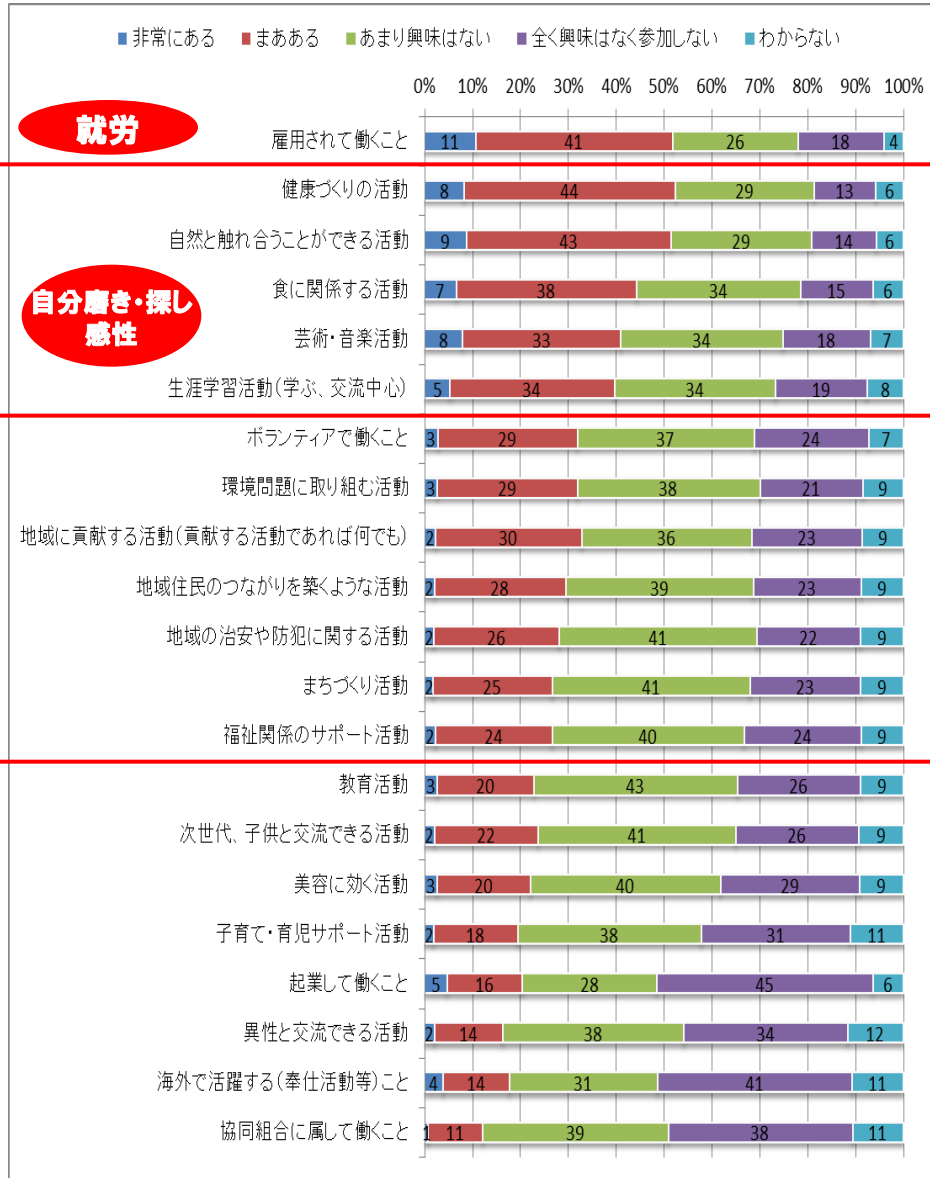
定年後は余生 ⇒ セカンドライフ

次代の高齢者50-60代の社会参加ニーズ調査

平成25年度厚生労働省老人保健健康増進等事業
「高齢者の社会参加の実態とニーズを踏まえた社会参加促進策の開発と
社会参加効果の実証に関する調査研究事業」より

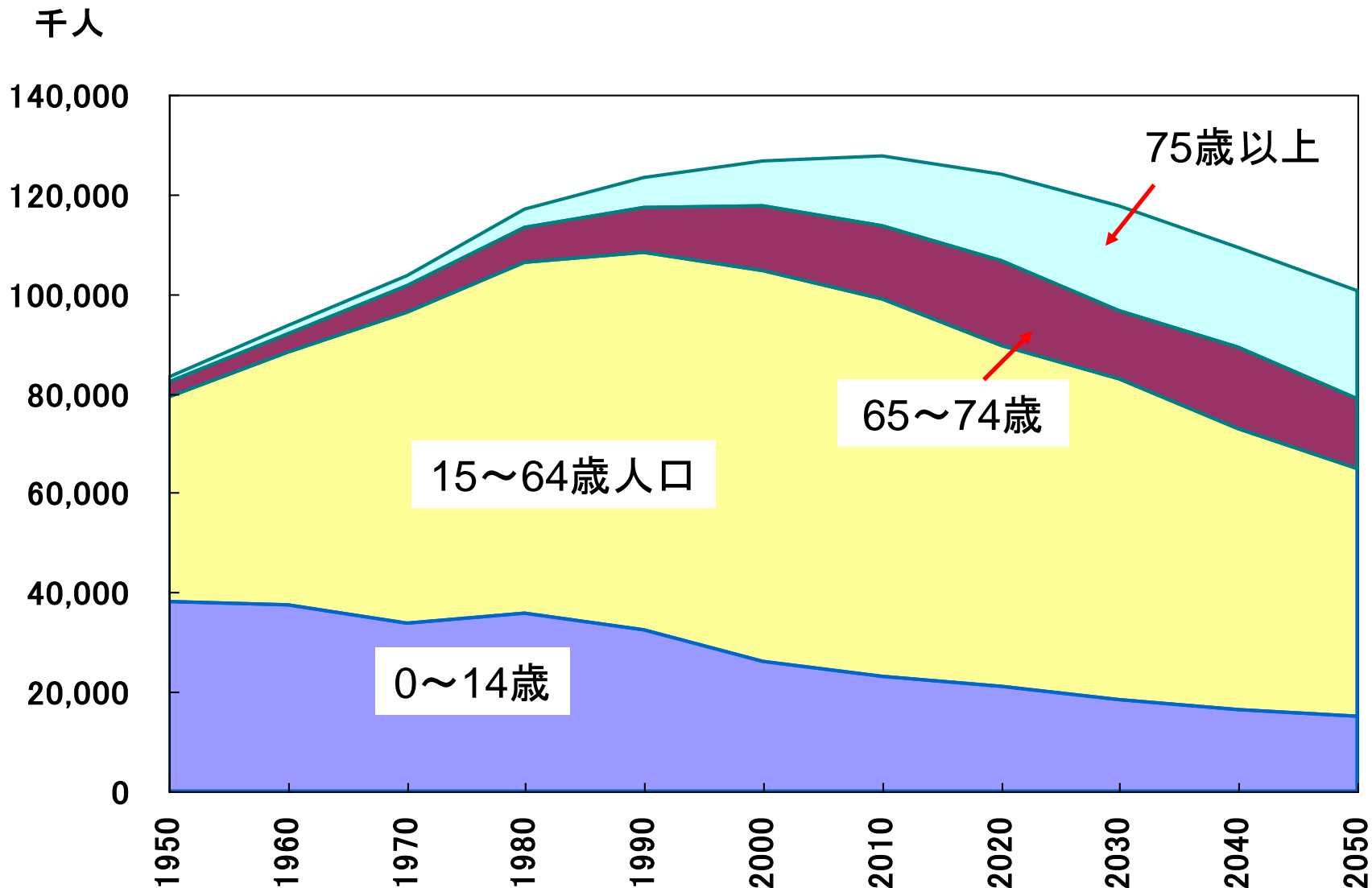
- ①調査対象：全国47都道府県在住の50～69歳・男女 5000名
- ②調査方法：インターネットによる自記式アンケート調査
- ③調査項目：基本属性、ライフスタイル、価値観、趣味・嗜好、将来に対する考え方、
高齢期の仕事及び社会活動に関する考え方等
- ④調査実施時期：2014年2月

将来(65-79歳)における諸活動への参加関心度



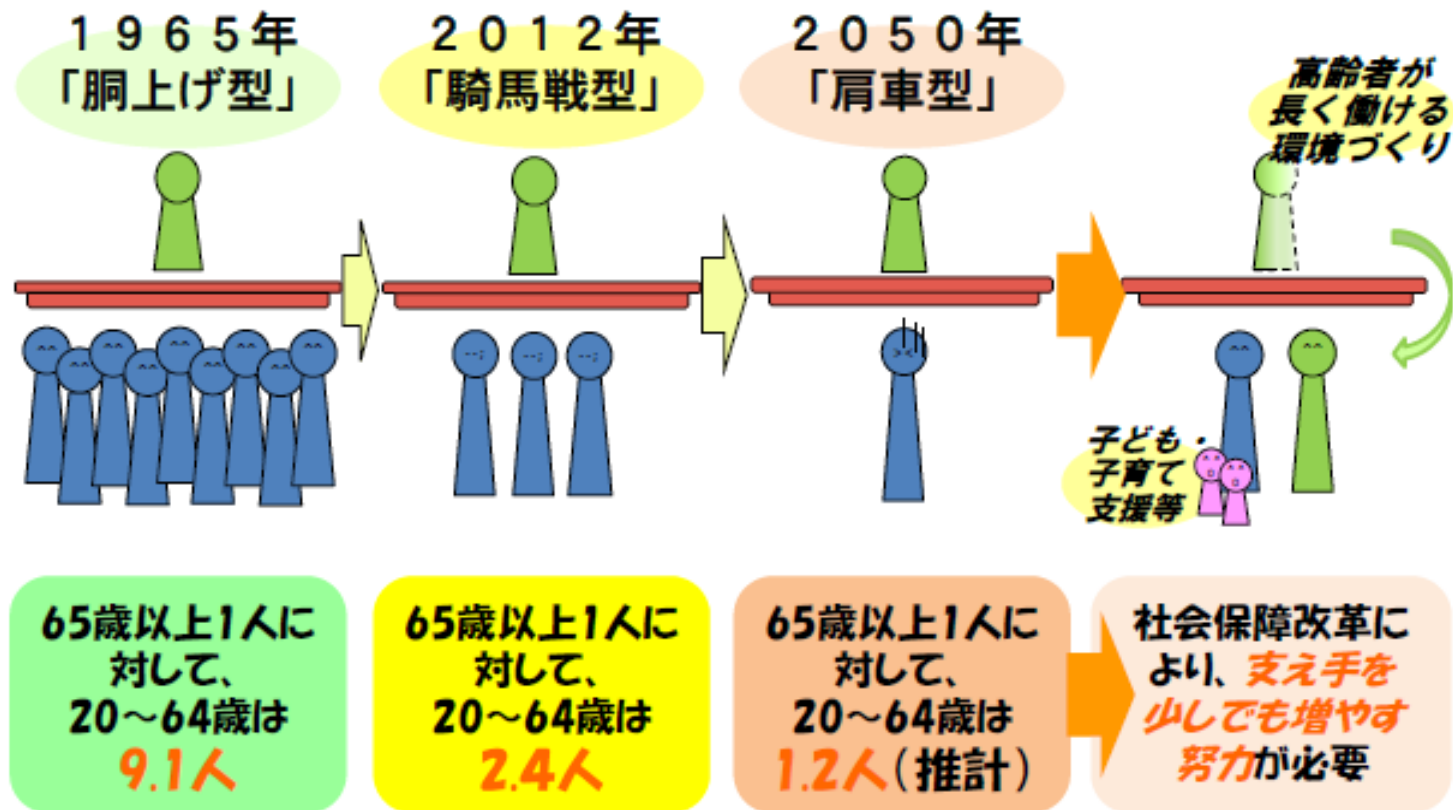
	全体		男女別			
	平均 得点	順位	男性		女性	
			平均 得点	順位	平均 得点	順位
雇用されて働くこと	3.36	1	3.46	1	3.27	5
健康づくりの活動	3.36	2	3.29	3	3.43	1
自然と触れ合うことができる活動	3.35	3	3.36	2	3.35	2
食に関係する活動	3.23	4	3.11	4	3.35	3
芸術・音楽活動	3.17	5	3.04	5	3.29	4
生涯学習活動(学ぶ、交流中心)	3.11	6	3.02	6	3.19	6
ボランティアで働くこと	2.97	7	2.96	10	2.97	8
環境問題に取り組む活動	2.96	8	2.98	8	2.94	9
地域に貢献する活動(貢献する活動であれば何でも)	2.95	9	3.00	7	2.90	10
地域住民のつながりを築くような活動	2.92	10	2.94	12	2.89	11
地域の治安や防犯に関する活動	2.90	11	2.98	9	2.84	13
まちづくり活動	2.88	12	2.95	11	2.80	14
福祉関係のサポート活動	2.87	13	2.85	14	2.89	12
教育活動	2.82	14	2.84	15	2.80	15
次世代、子供と交流できる活動	2.82	15	2.83	16	2.80	16
美容に効く活動	2.77	16	2.50	21	3.03	7
子育て・育児サポート活動	2.68	17	2.59	20	2.76	17
起業して働くこと	2.67	18	2.83	17	2.52	19
異性と交流できる活動	2.61	19	2.86	13	2.37	21
海外で活躍する(奉仕活動等)こと	2.60	20	2.61	19	2.58	18
協同組合に属して働くこと	2.53	21	2.61	18	2.45	20

2050年には労働人口が3割減



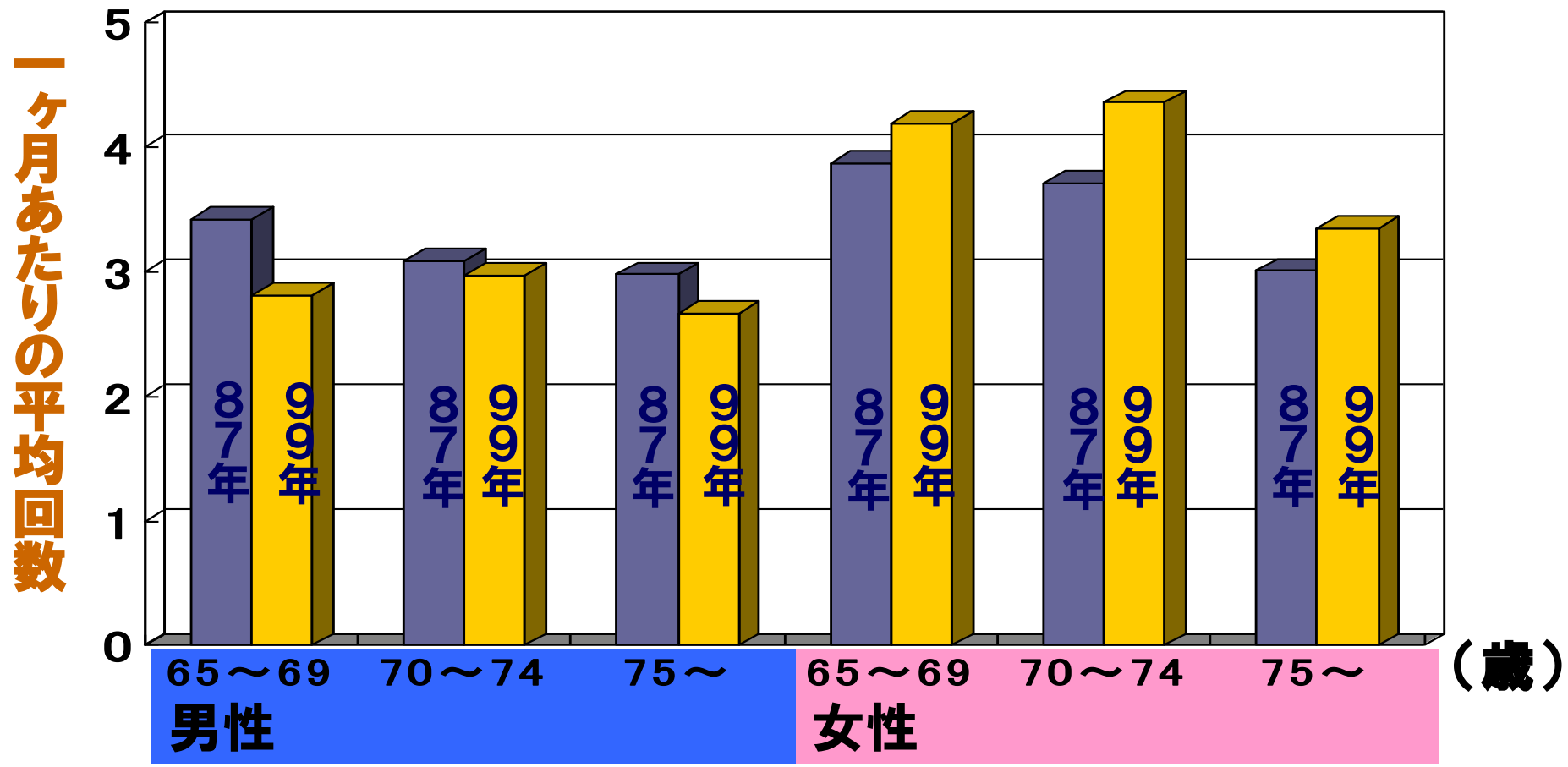
社会全体の支え合い構造の見直しが必要

やがて「肩車型」へ～高齢者が社会の支え手になっていく必要がある



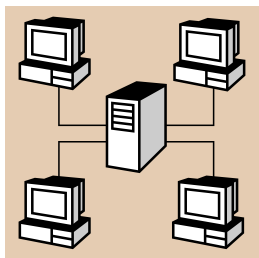
出典:財務省HP

友人・近所の人・親戚との対面接触

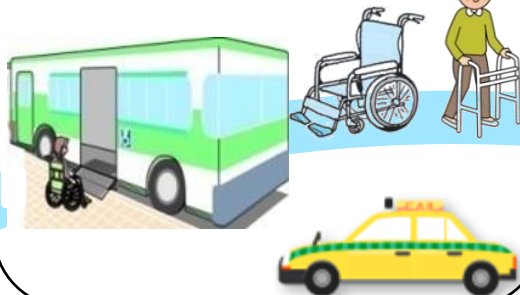


長寿社会のまちづくり : コミュニティで社会実験

情報ネットワーク



個々の状況に応じた
移動手段



高齢者を
地域の支え手に



ニーズに即した
多様な住居



評価

Quality of
Life
(QOL)



Quality of
Community
(QOC)



コスト



病院から在宅へ

病院

地域

健康情報



遠隔医療



患者学

プライマリケア体制



かかりつけ医

薬局



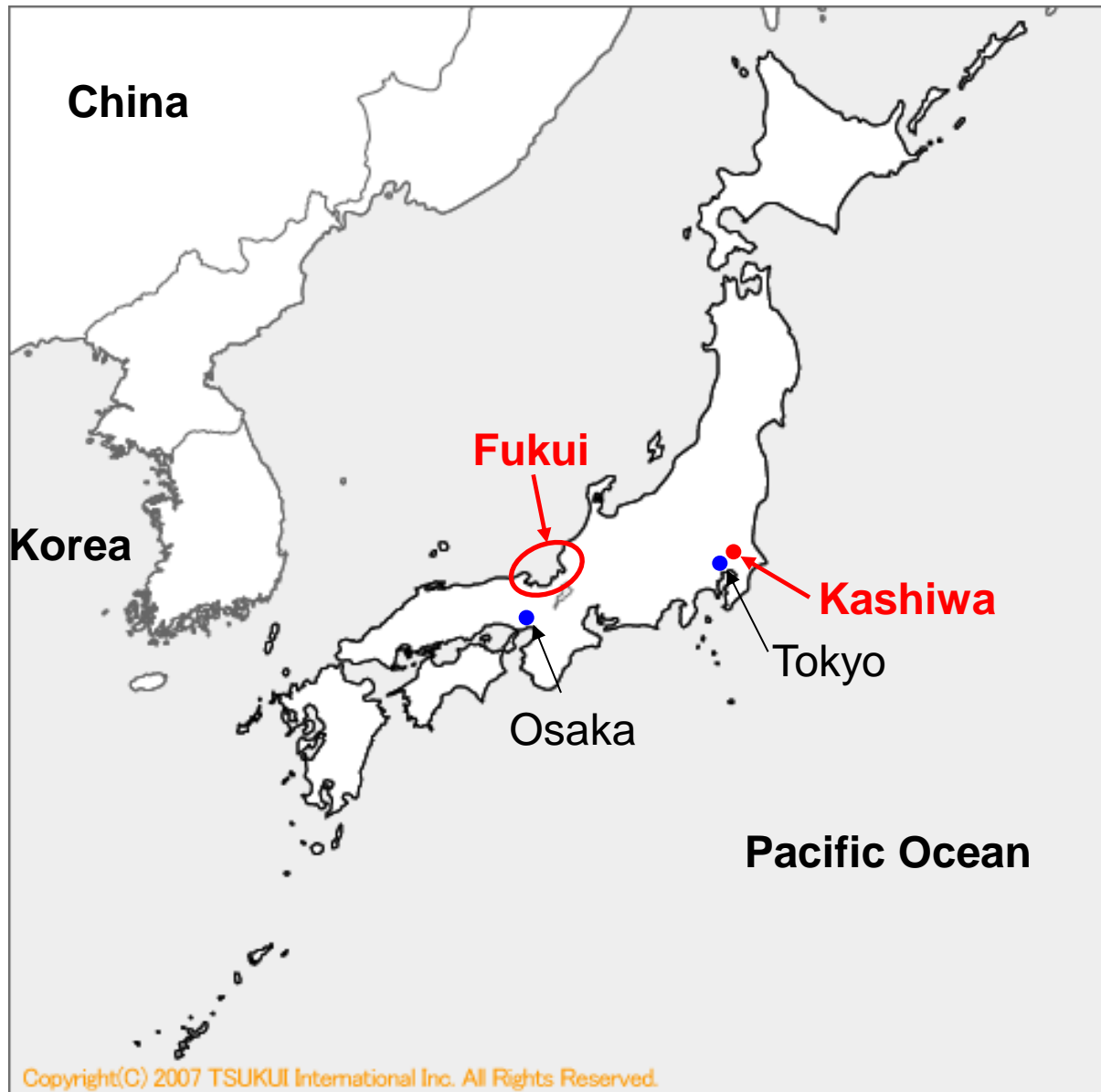
24時間対応の訪問看護・介護



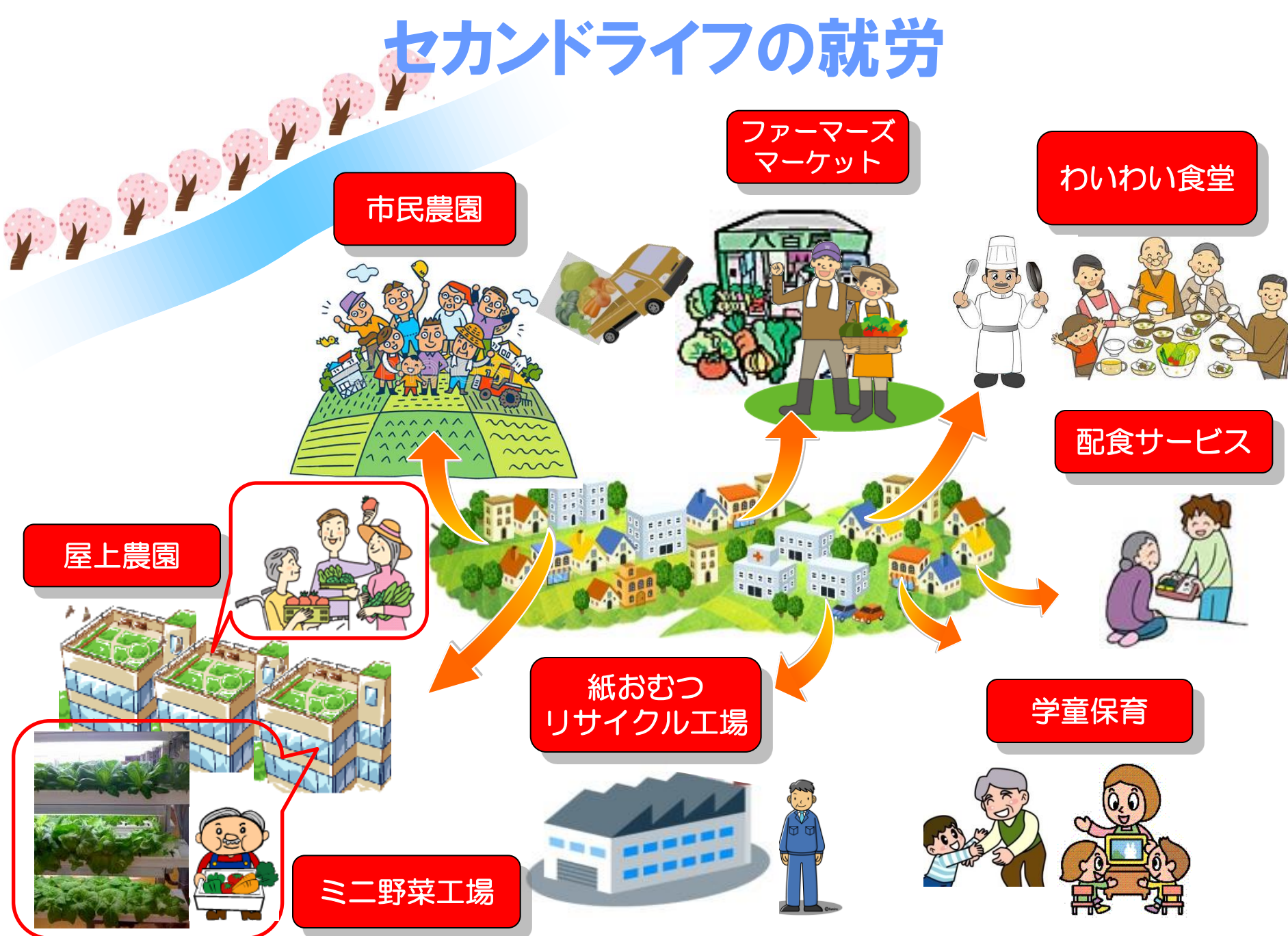
まちづくりの主要な領域

- 住宅
- 包括的医療・介護システム
- 移動手段
- 情報システム
- 人の繋がり
- 就労・社会参加・生きがい

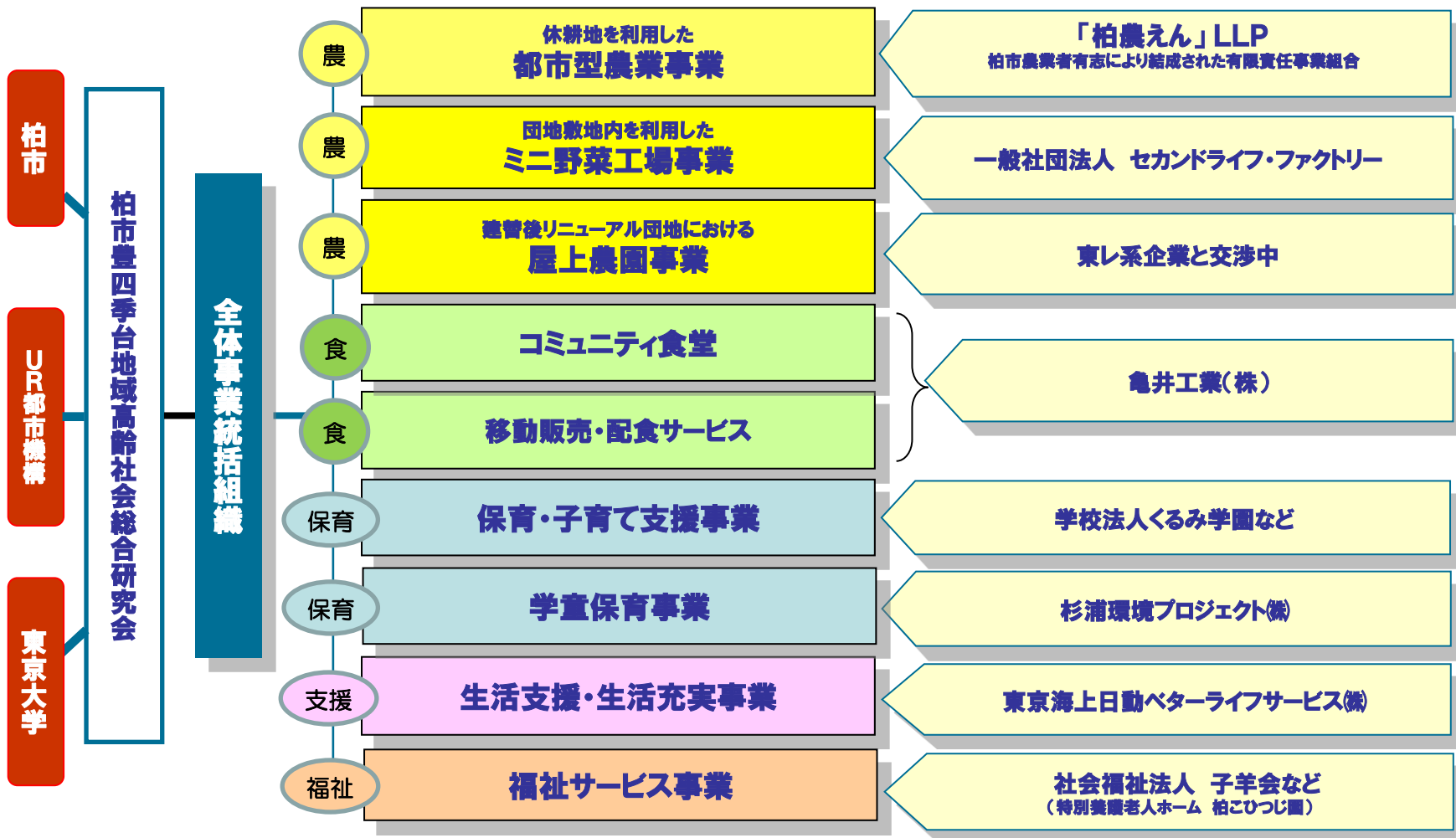
2つのコミュニティで社会実験



セカンドライフの就労



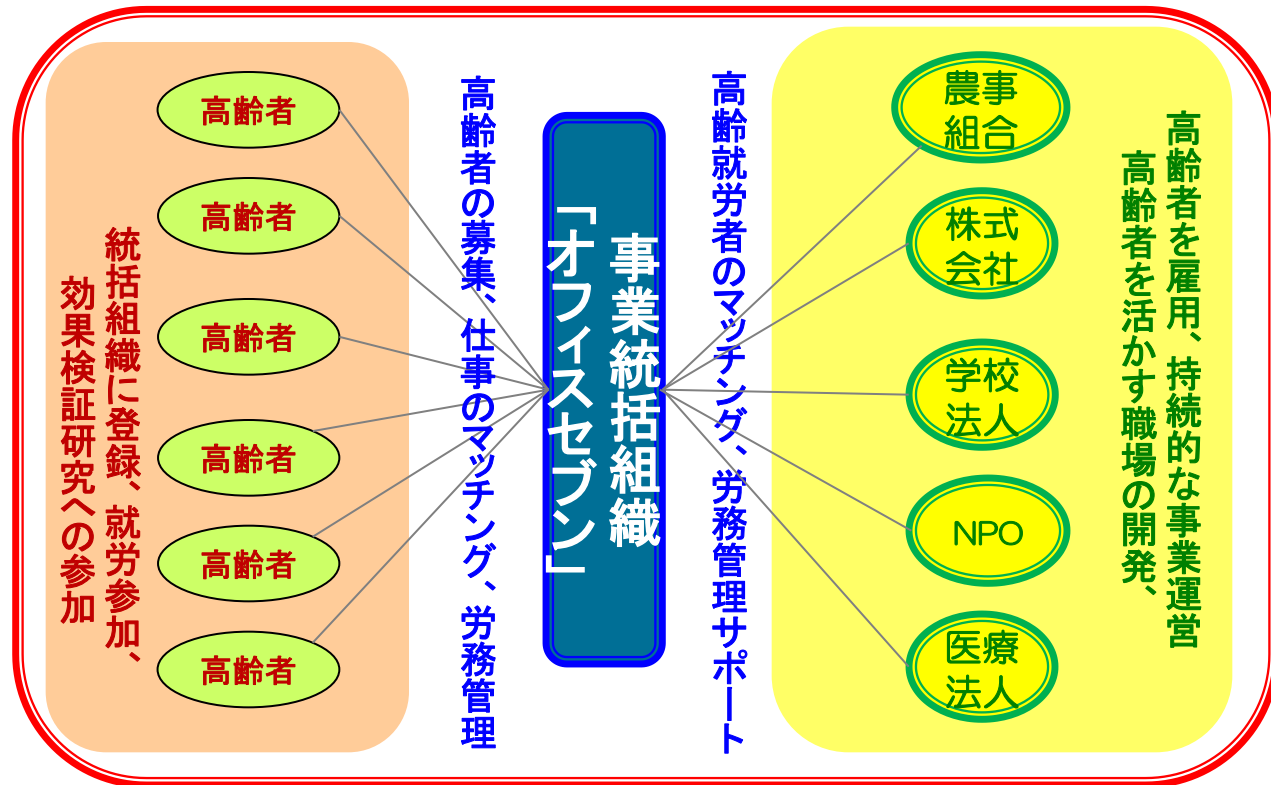
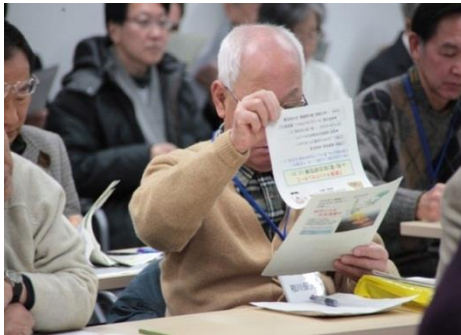
就労の場を創る



セカンドライフの新しい働き方

事業の担い手および就労者(シニア)と協働し、セカンドライフにふさわしい働き方の開発・普及を担う「オフィスセブン」の設立

- 市民を対象とした「就労セミナー」を開催(約700名が修了)
- セミナー修了者で、7事業で雇用された方が就労開始
- フレキシブルな働き方を支援する、クラウドコンピュータシステムを用いた技術開発



「就労セミナー」 ～地域住民の育成・啓発～

第3回目
(4月)
の様



セミナー日時、内容

第1回 6月22日(金)	10:00～12:30 セカンドライフの就労のすすめ 東京大学教授 秋山弘子	高齢化社会に向けてセカンドライフで働く意義について学びます
	13:30～16:00 高齢者就労の現状 人材派遣業、シルバー人材センターの担当者等	高齢者の職業斡旋や派遣などの事業者の立場から、日本における高齢者就労の実態などを学びます
第2回 6月29日(金)	10:00～12:30 雇用する側から高齢者就労に求めること 高齢者雇用予定事業者等	生きがい就労研究で高齢者を雇用する予定の事業者から、生きがい就労に求めること、雇用の要件などを学びます
	13:30～16:00 セカンドライフの就労の新しいかたち 東京大学研究員 矢富直美 他	高齢者のライフスタイルや能力に合った就労の考え方やこれからの生きがい就労研究で目指すことを学びます

セミナー会場

柏市柏の葉5-1-5
 東京大学柏キャンパス
 総合研究棟
 6階会議室

応募者の要件

- 60歳以上である ● 柏市在住である
- 農業、保育、教育、高齢者福祉などの分野で働くことに興味がある。または、その他の分野で働くことに興味がある
- 左記のセミナーに全国出席が可能である
- 東京大学が研究として行う面接、アンケート、検査等に協力する意思がある

今後の開催予定

■ **第4回就労セミナー**
 6月22日(金)・27日(金)

■ **第5回就労セミナー**
 7月24日(火)・31日(火)

※第5回は農業分野に特化した研修(募集時から告知)

柏市豊四季台地域高齢社会総合研究会

活躍するシニア



生涯現役社会(エイジフリー社会)の実現

シニアの就労は、個人のセカンドライフ課題と地域創生に貢献

個人

社会

健康

生きがい

つながり

居場所

収入

生産者

消費者

納税者

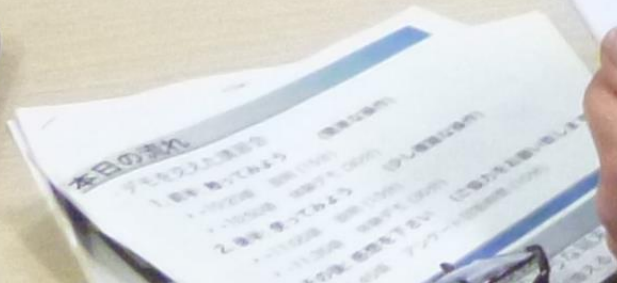
医療・福祉財政

地域力

社会の支えあいバランス

孤立防止





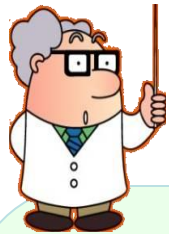
コミュニティ食堂イメージ@柏市豊四季台



(資料) 亀井工業ホールディングス㈱「千葉県柏市豊四季台団地事業企画パンフレット」より引用

セカンドライフにおける就労の効果測定

高齢者本人と地域社会の両者への複線的な効果を測定・検証



個人

体と頭の機能維持、健康増進
地域社会との関わりの増加
生きがい・自己実現・笑顔

就労者・非就労者を追跡検査・調査
身体・認知機能、体組織
社会活動や消費行動の実態
地域や自己に関する意識・・・

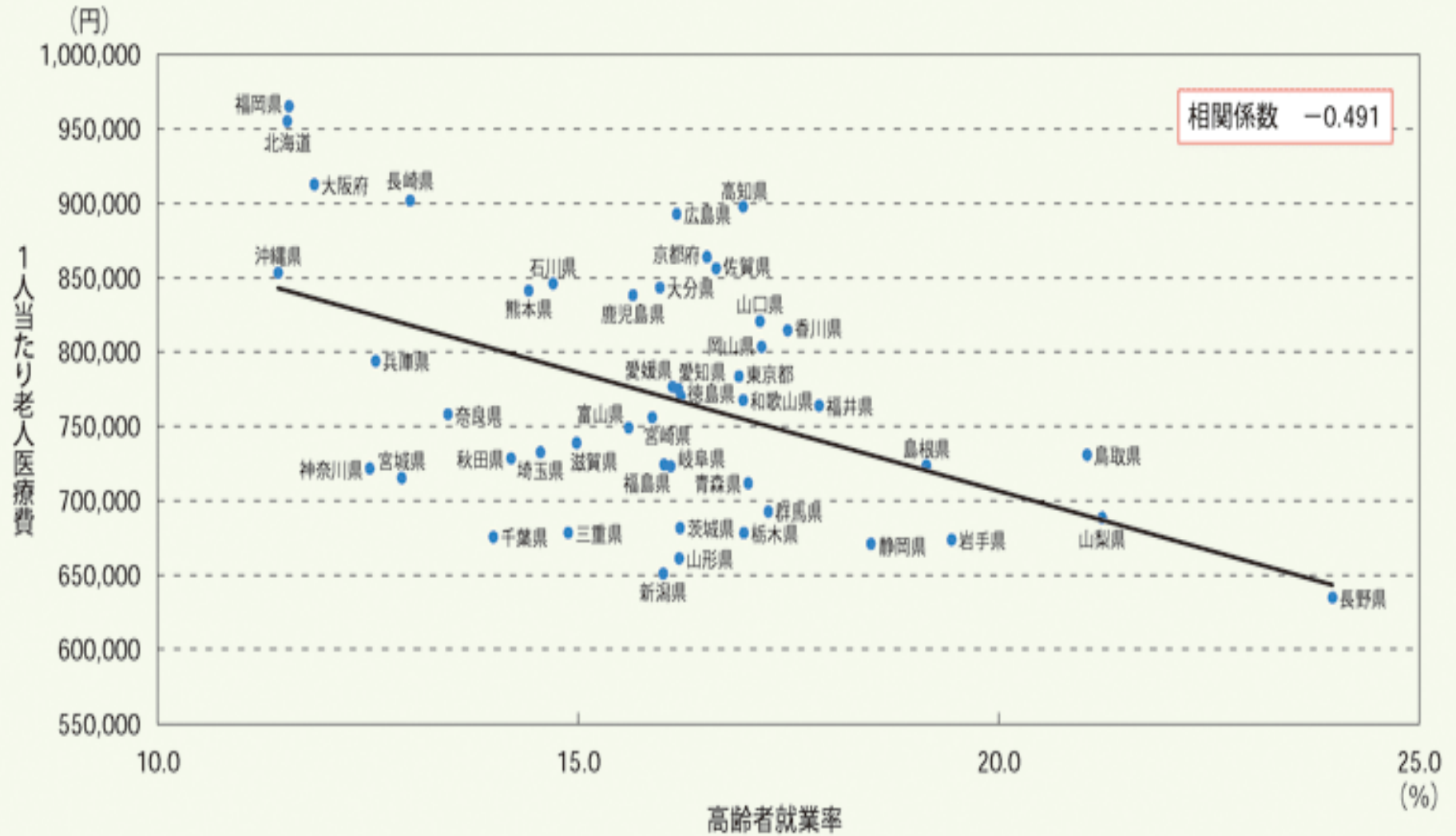


地域社会

地域の労働力の拡大
住民の健康増進・消費拡大
社会的孤立問題の改善

地域の社会調査やマクロデータの解析
地域住民の社会活動や消費行動の実態
医療費・税収入
農・保育・生活支援分野の活性化

図表3-6-3 都道府県別 1人当たり老人医療費と高齢者就業率（70歳以上人口に占める就業者の割合）の相関関係



資料：厚生労働省保険局「老人医療事業年報」（2004年度）、総務省統計局「国勢調査」（2005年）より厚生労働省政策統括官付政策評価官室作成。

研究検査室

2012年2月1日に「研究検査室」を申請・登録（現在までに56名検査施行）

血管検査

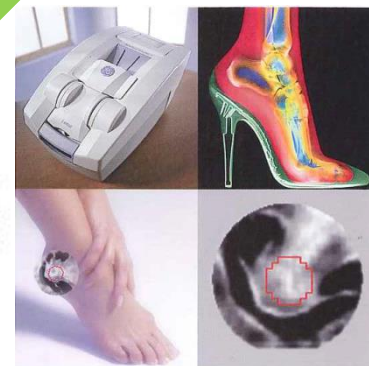
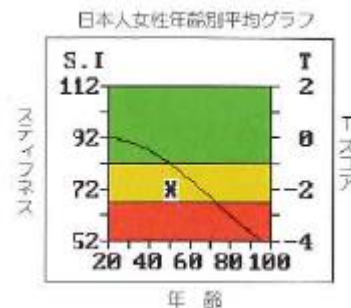


- ・CAVI/ABI
- ・FMD(血流依存性血管拡張反応)

IOG研究検査室



骨密度測定



- ・踵骨による骨密度測定(YAM)

体組成測定



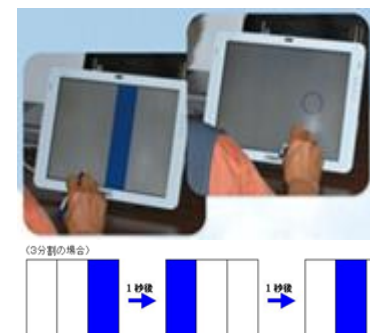
- ・脂肪量/筋肉量/
水分量/推定骨量

活動量計測



- ・歩数/消費カロリー/Mets

認知機能評価



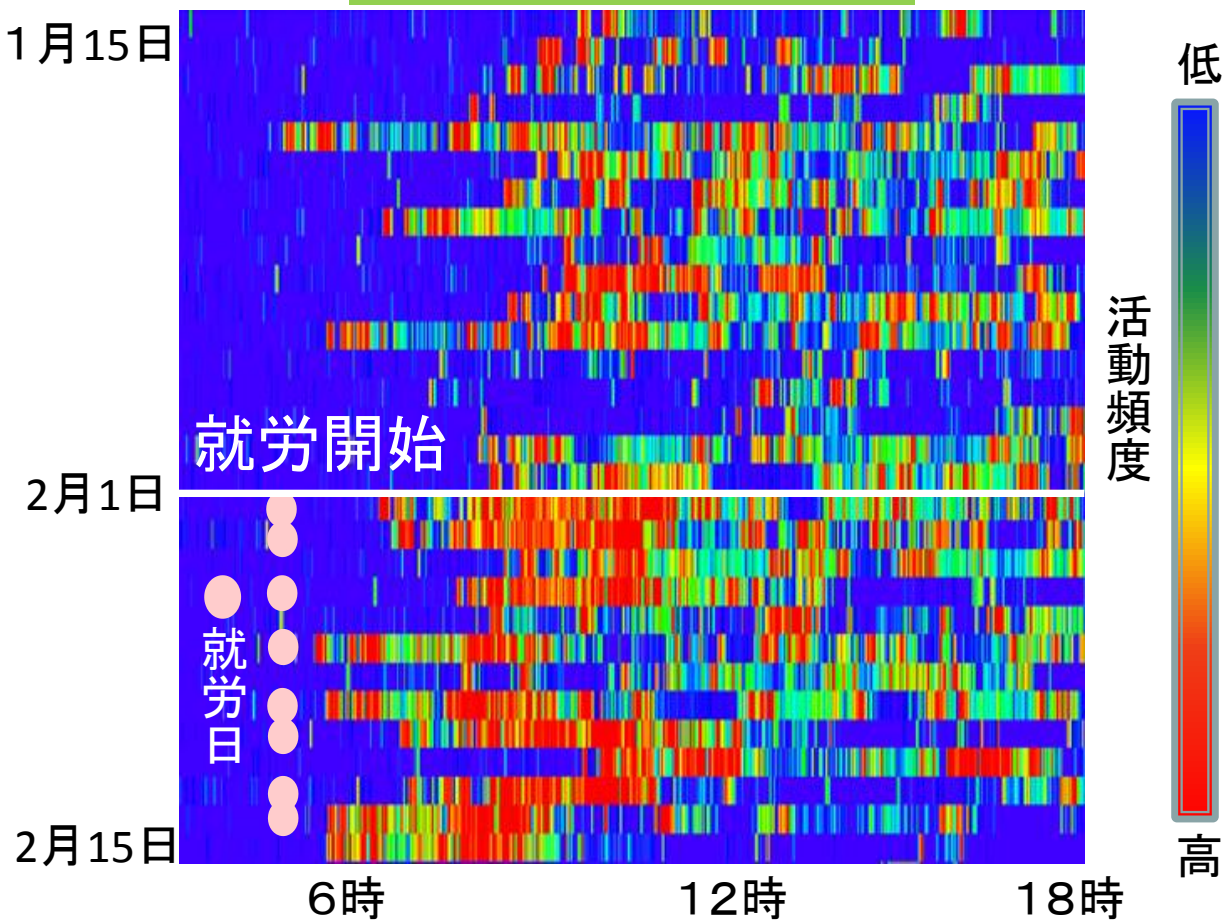
- ・物忘れ相談プログラム/タッチエム
即時再生/見当識/遅延再生/図形認識

研究検査室

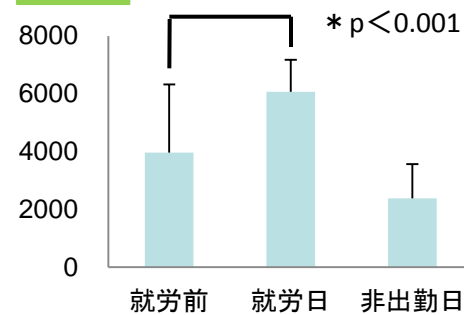
活動量計測

・歩数/消費カロリー/Mets

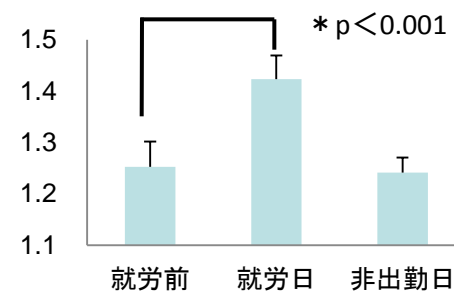
活動頻度(タペストリ)



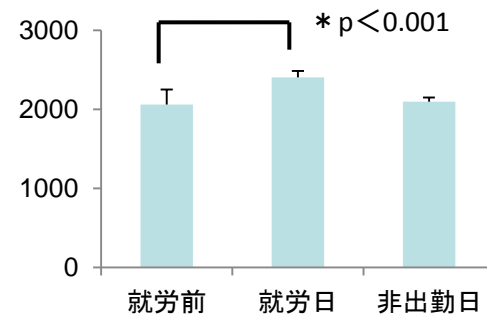
歩数



Mets (運動強度)

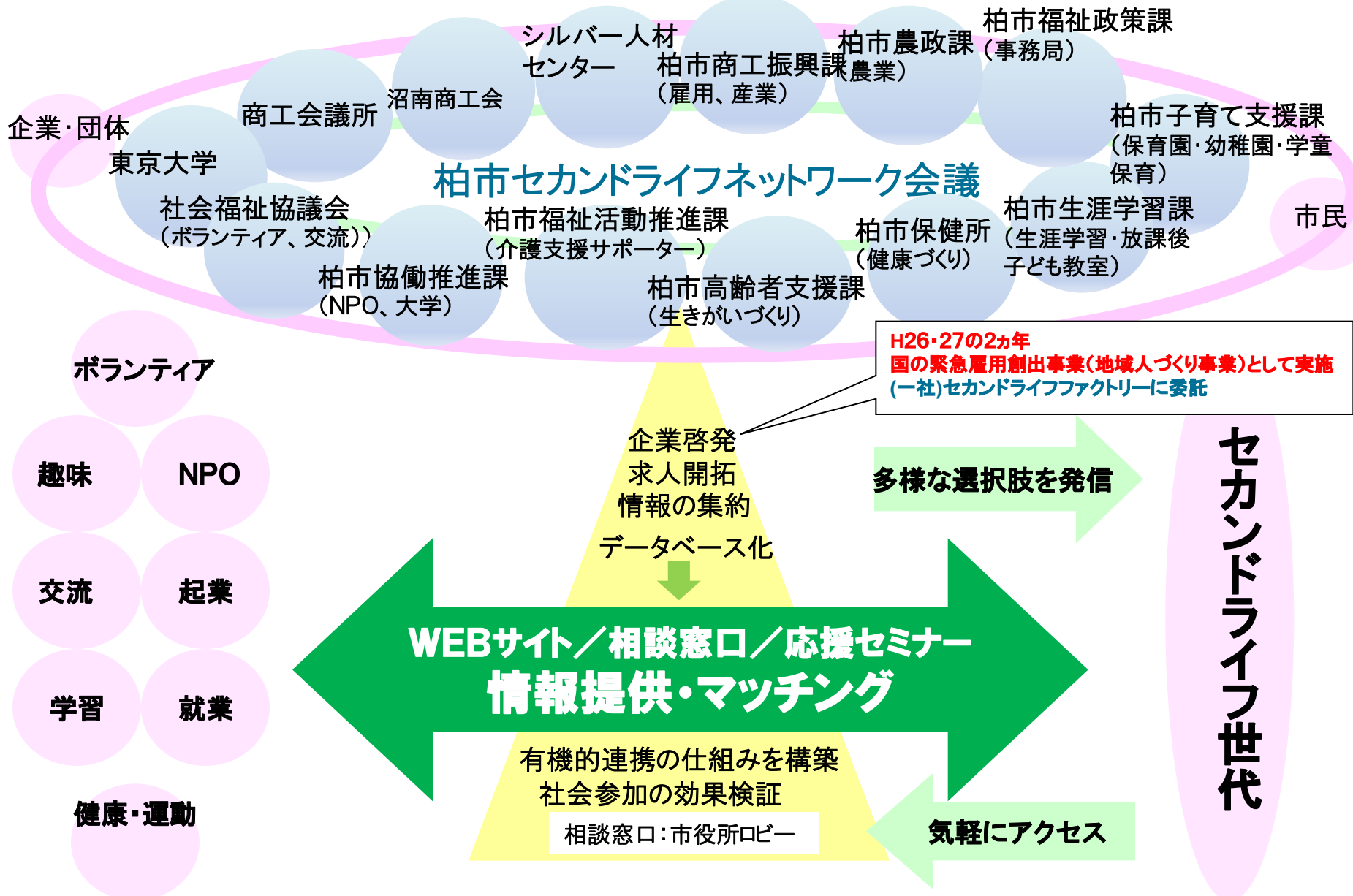


消費カロリー



柏市セカンドライフプラットフォーム事業

就労・ボランティア・NPO・生涯学習等の施策の横断的連携と情報一元化のためのプラットフォームを構築



厚生労働省「生涯現役促進地域連携事業」

生涯現役社会の実現に向けた 雇用・就業環境の整備に関する検討会 報告書

平成27年6月5日

生涯現役社会の実現に向けた
雇用・就業環境の整備に関する検討会

